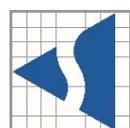


2021年6月期第2四半期 決算説明会資料

2021年2月12日



北川精機株式会社

<JASDAQ : 6327>

目次

1. 連結業績説明
2. 2021年6月期の見通し
3. 事業環境と今後の課題
4. 中期経営計画

目次

1. 連結業績説明

2. 2021年6月期の見通し

3. 事業環境と今後の課題

4. 中期経営計画

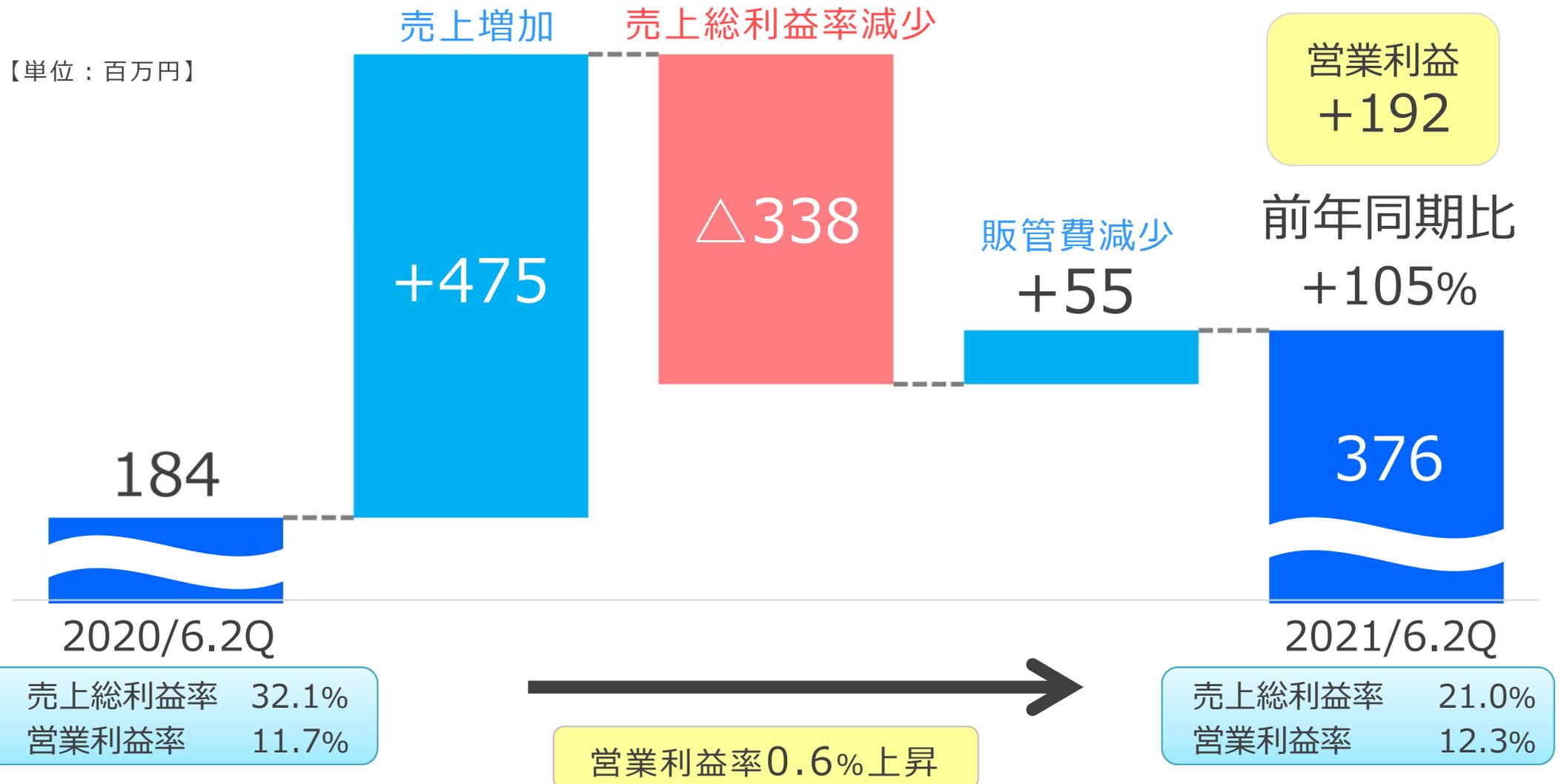
2021年6月期2Q 連結決算概要

- 期初計画通り推移し、売上高と利益の全項目で業績予想値を達成
- 売上増、原価管理徹底及び販管費減少により各利益前年同期比で大幅増加

【単位：百万円】	2020/6 2Q	2021/6 2Q	前年同期比	2021/6.2Q 【業績予想値】	
			増減額(率)	2020/8/19公表	達成率
売上高	1,570	3,051	+1,481 (+94%)	3,000	102%
営業利益	184	376	+192 (+105%)	300	126%
経常利益	180	362	+181 (+100%)	280	129%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	27	309	+281 (+1,010%)	230	134%
1株当たり 四半期純利益	3.64円	41.90円	+38.26円 (+1,051%)	30.07円	139%

2021年6月期2Q 増減分析【営業利益】

- 低採算の海外向け大型案件が上期に集中した結果、売上総利益率低下
- 渡航制限等による出張の減少及びサポイン事業完了により販管費減少



セグメント別実績【売上高・営業利益】

【単位：百万円】

	2020/6 2Q		2021/6 2Q		前年同期比			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高		営業利益	
					増減額	増減率	増減額	増減率
産業機械事業	1,447		2,970					
輸出比率	38.3%	161	77.2%	365	+1,523	+105%	+204	+127%
外貨建て比率	10.6%		12.0%					
その他の事業	122	15	80	11	△42	△35%	△3	△23%

各実績の売上高はセグメント調整後、営業利益はセグメント調整前

セグメント別実績【受注高・受注残高】

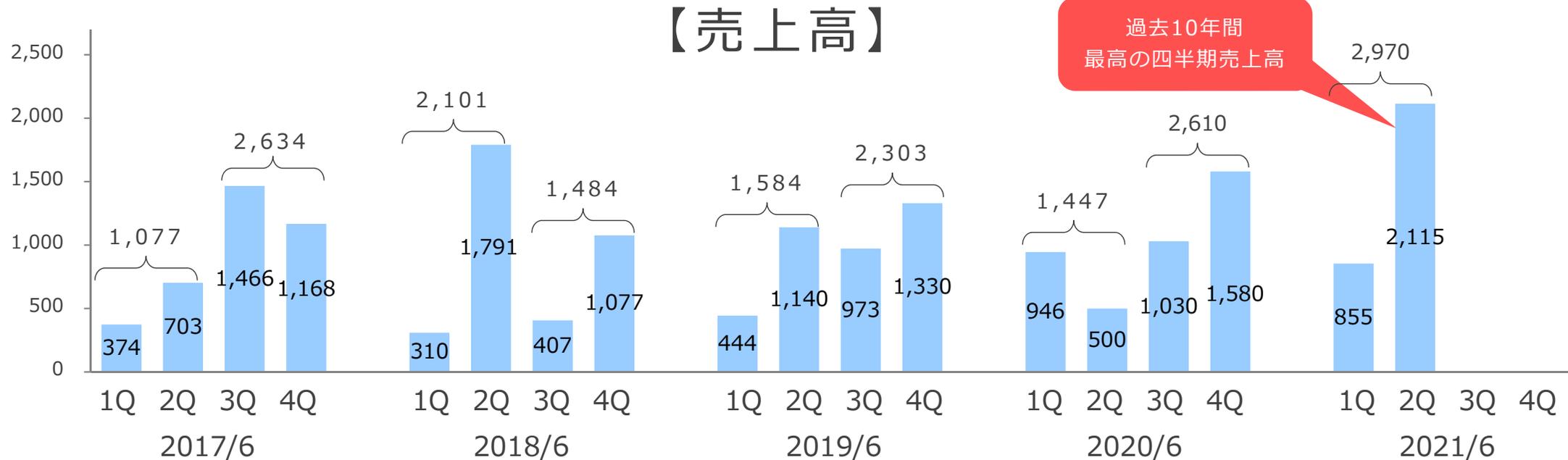
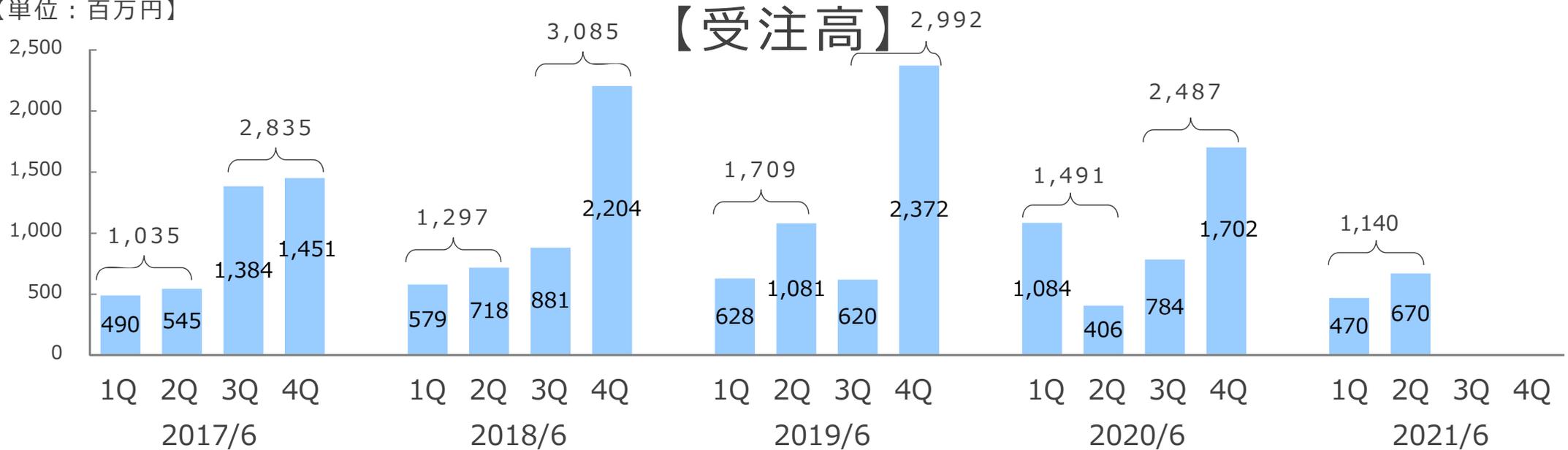
- 中国、台湾における投資意欲は継続しており引合いは堅調なもの、コロナ禍の影響により若干の商談遅れが発生

【単位：百万円】

	2020/6 2Q		2021/6 2Q		前年同期比	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
産業機械事業	1,491	3,747	1,140	1,794		
輸出比率	54.3%	82.9%	45.1%	60.1%	76.5%	47.9%
外貨建て比率	36.8%	21.5%	2.6%	12.3%		
その他の事業	105	95	95	94	90.3%	98.7%
計	1,596	3,843	1,235	1,888	77.4%	49.1%

受注高及び売上高の推移【産業機械】

【単位：百万円】



連結貸借対照表の推移

【単位：百万円】

【資産】 △2,063

仕掛品 △746
受取手形及び売掛金 △658
現預金 △535

【負債】 △2,062

前受金 △1,097
電子記録債務 △663
支払手形及び買掛金 △266

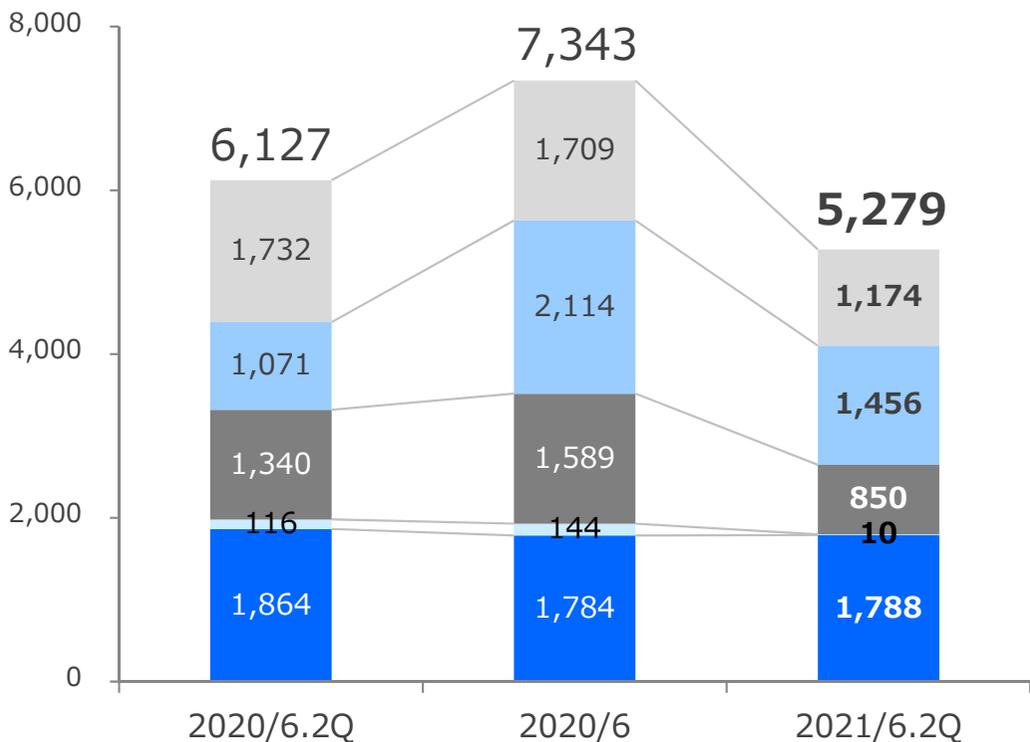
【純資産】 0

親会社株主に帰属する四半期純利益 +309
自己株式取得 △331

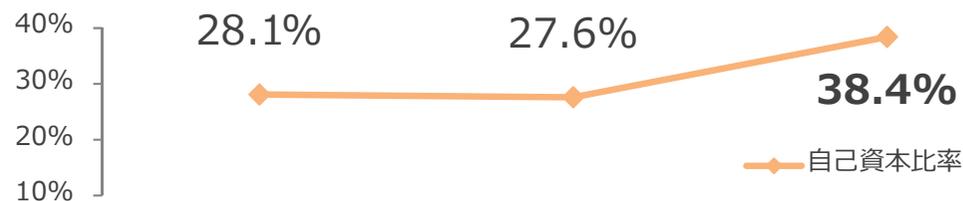
【自己資本比率】

+10.8ポイント

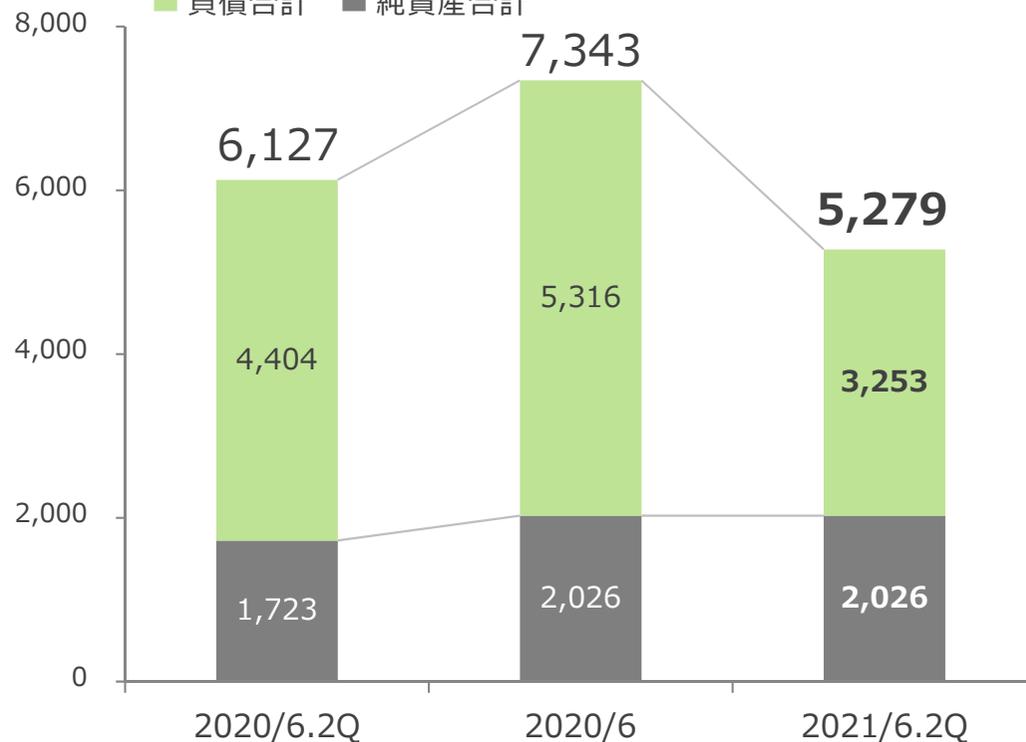
■ 現預金 ■ 売上債権 ■ 製品/原材料/仕掛品 ■ その他流動資産 ■ 固定資産



【資産】



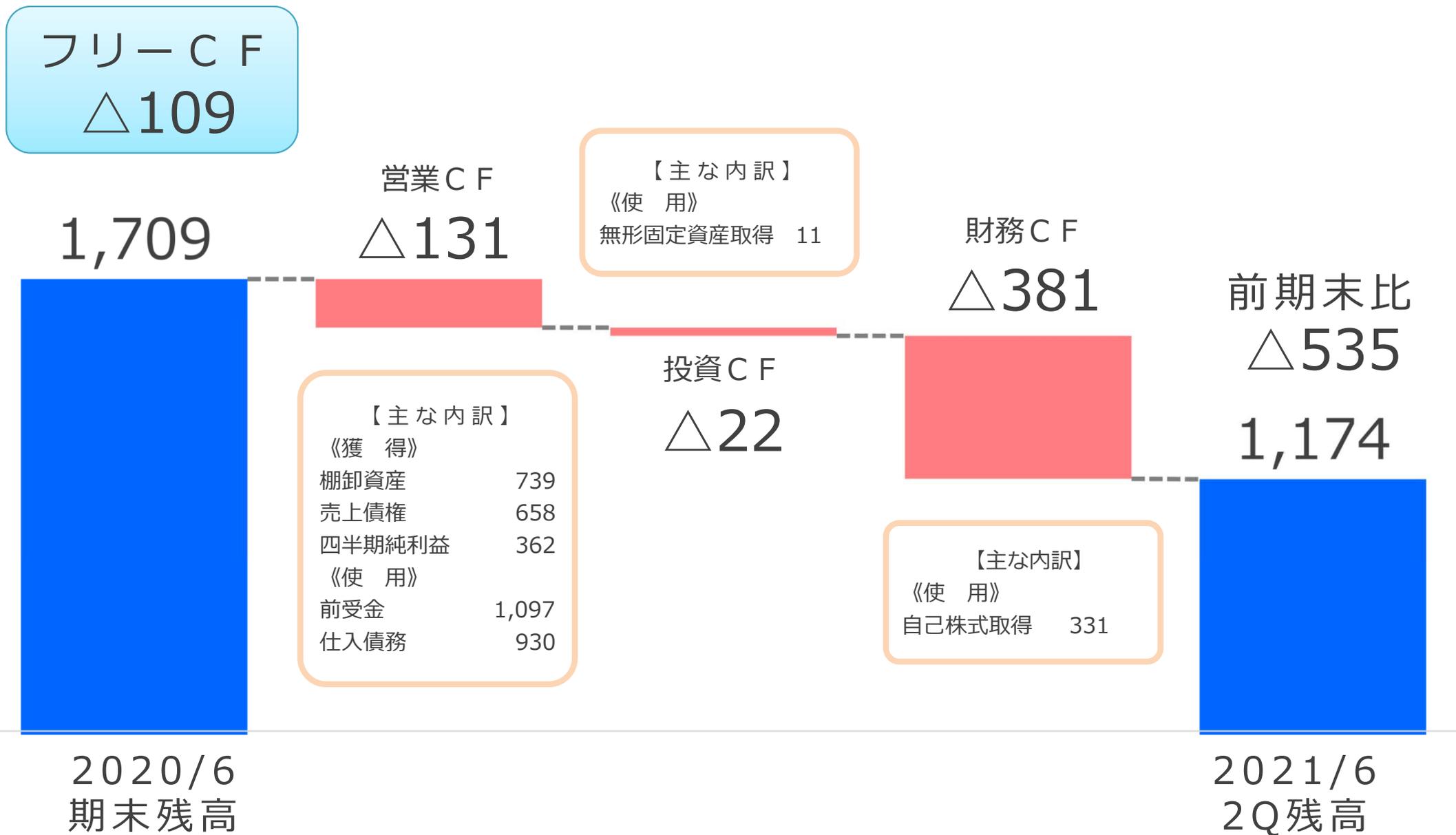
■ 負債合計 ■ 純資産合計



【負債・純資産】

連結キャッシュフローの増減分析

【単位：百万円】



目次

1. 連結業績説明

2. 2021年6月期の見通し

3. 事業環境と今後の課題

4. 中期経営計画

コロナ禍の影響に関して

- 本社及び各支店で感染防止対策の徹底を継続し、通常稼働の維持に努める

影響

1. 海外渡航制限による商談の遅延
2. 海外工事で遅れが発生(売上への影響は軽微)
3. 海外調達品の一部入荷遅れは正常化

対策

1. Web会議等で顧客と密に連絡を取り、案件の進捗遅れをカバー
2. PCR検査及び隔離措置に従い海外出張を再開、並行してWebカメラ等を使用した遠隔指導による海外工事を継続
3. 外注先や物流の状況を常に確認し、一部発注前倒し実施

2021年6月期 連結業績予想

- 堅調な引合いを背景に増収増益を予想
- コロナ禍の影響は、Webシステムの活用などにより現時点では限定的
現状では期初計画に沿った進捗を見込むが、収束は見えない中で今後の影響は不透明

【単位：百万円】	2020/6 【実績】	2021/6 【予想】	前期比	
			増減額	増減率
売上高	4,266	4,800	+534	+13%
営業利益	480	500	+20	+4%
経常利益	480	480	0	0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	326	380	+54	+17%
1株当たり当期純利益	42.65円	52.66円	+10.01円	+23%
1株当たり配当金	—	5円	+5円	
為替レート / 1ドル	108.00円	107.00円	期初想定レート	
	107.45円	—	期中平均値(売上計上時)	

2021年6月期 セグメント別業績予想

【売上高・営業利益】

【単位：百万円】

	2020/6 【実績】		2021/6 【予想】		前年比			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高		営業利益	
					増減額	増減率	増減額	増減率
産業機械事業	4,057	455	4,620	490	+563	+14%	+35	+8%
その他の事業	208	18	180	10	△28	△14%	△8	△44%

各実績の売上高はセグメント調整後、営業利益はセグメント調整前

目次

1. 連結業績説明

2. 2021年6月期の見通し

3. 事業環境と今後の課題

4. 中期経営計画

事業環境と市場の見通し

基板市場

- ※
✓ 電動化・ADAS向け車載基板、5G基地局・スマホ向け高周波基板、データセンター向けサーバー用基板の需要は堅調

自動車市場

- ✓ カーボンニュートラル実現へ向け電気自動車・燃料電池自動車の開発、市場投入が加速する見込み
- ✓ コロナ禍の影響や半導体不足により販売台数は一時的に減少

CFRTP市場

- ✓ 軽量化ニーズから自動車関連の研究開発需要は依然旺盛
- ✓ 材料メーカーでは試作や少量生産用の設備投資を継続中
- ✓ 航空機業界は需要回復まで複数年の期間を要する見込みも、中長期的には依然として市場の拡大が期待される

今後の課題

営業

- ✓ 真空プレス・成形プレス機の新市場開拓
(CFRTP、セラミック、自動車用部品等)
- ✓ 新たに開発したCFRP向け装置の宣伝・拡販
(展示会に代わる効果的なPR手段の確保)
- ✓ 顧客・商社・エンジニアリング会社の新規開拓
(FA・搬送機械、特殊機械)

技術

- ✓ 顧客ごとの仕様に合わせた全自動プレス生産一貫ラインの開発
- ✓ IoTを活用したサポートサービスの構築

製造

- ✓ 次世代高速通信向けCCL用高温真空プレス装置の短納期化
- ✓ 遠隔指導による海外据付工事の作業効率向上
- ✓ 仕入れ調達先の分散・多様化
- ✓ 増産に向けた設備投資、協力工場の新規開拓

目次

1. 連結業績説明

2. 2021年6月期の見通し

3. 事業環境と今後の課題

4. 中期経営計画

革新と創造への挑戦

～独創性で輝き続ける **KITAGAWA**へ～

1

独自コア技術の
新分野・新市場への
積極展開

2

徹底した工程管理と
原価削減による
収益性・競争力・製品/
サービス品質の向上

3

創造性と自主性に溢れ、
継続的な成長を
支える活力ある
強い組織作り

環境変化に合わせた新市場の開拓
安定的・持続的な成長基盤を整備

中期経営計画(2019/6月期～2021/6月期)

	2020/6月期 実績	2021/6月期 計画 [※]	2021/6月期 予想
売上高	4,266 百万円	4,300 百万円	4,800 百万円
営業利益	480 百万円	380 百万円	500 百万円

※子会社(建材機械事業)の異動に伴い、2019年8月19日に数値目標を修正

<補足資料>

会社概要

社名	北川精機株式会社
英文社名	KITAGAWA SEIKI CO.,LTD
創業	1951年(昭和26年)7月
設立	1957年(昭和32年)1月14日
本社所在地	広島県府中市鵜飼町800番地の8
代表者	代表取締役社長 内田 雅敏
事業内容	プリント基板プレス装置、 新素材プレス装置、 ソーラーパネル成形用ラミネータ装置、 FA・搬送機械の製造及び販売
資本金	300百万円
主要子会社	ホクセイ工業株式会社 北川精機貿易(上海)有限公司
従業員数	連結142名 単体130名 《2020年12月末現在》

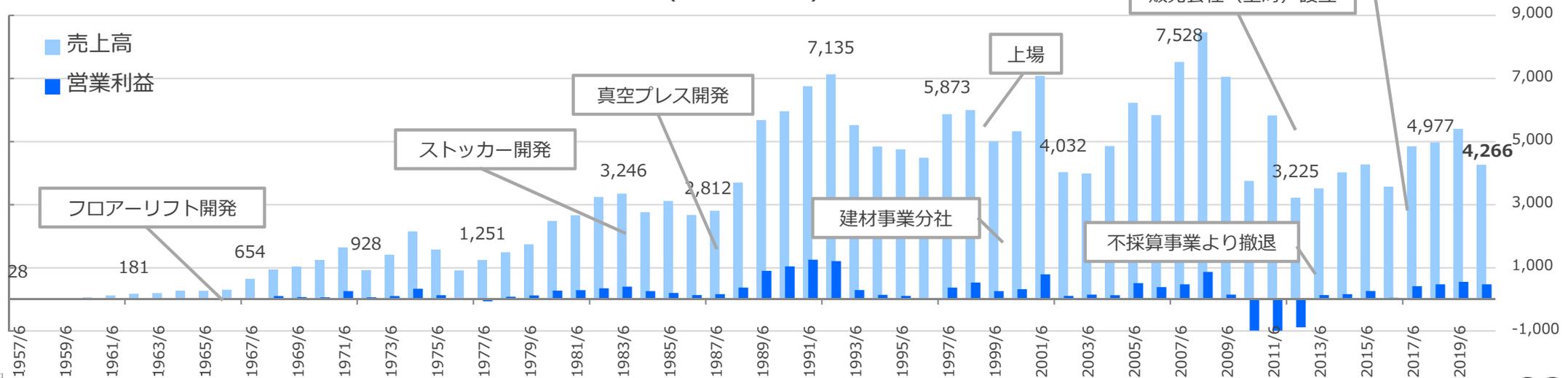
企業理念 「英知と創造」



沿革

- 1957年 「株式会社寿製作所」を設立
- 1958年 合板用ホットプレスを開発、製造・販売開始
- 1960年 商号を「北川精機株式会社」に変更
- 1966年 フロアーリフト、油圧エレベーター等を開発、製造・販売開始
- 1977年 ボード成形用プレス(2000t)装置を開発、製造・販売開始
- 1982年 多層プリント基板成形用プレス装置を開発、製造・販売開始
- 1983年 ソリッドストッカーを開発、製造・販売開始
- 1985年 プリント基板成形用真空プレス装置を開発、製造・販売開始
- 1987年 大型真空プレス(20段)装置を開発、製造・販売開始
- 1990年 複合材成形用高温プレス(最高温度600℃)装置を開発、製造・販売開始
- 1998年 ジャスダック市場へ上場
- 1999年 建材機械事業部門を分社、「キタガワエンジニアリング株式会社」設立
- 2006年 ISO14001認証取得
- 2009年 多段真空ラミネータ装置を開発、製造・販売開始
- 2011年 「北川精機貿易(上海)有限公司」設立
- 2012年 不採算事業(PV、EDLC)から撤退
- 2016年 熱可塑性樹脂シート成形用真空プレスを開発、製造・販売開始
- 2019年 キタガワエンジニアリング株式会社(建材機械)全株式を同社へ譲渡

【単位：百万円】



当社の強み

開発、設計、製造、販売、メンテナンスの全てを
自社で行う事によりユーザー個別の多様なニーズに対応

研究開発

設計

製造

販売

保守整備



当社取引先業界と主な製品

電子回路業界

- 銅張積層板成形用真空プレス
- プリント配線板成形用真空プレス
- I Cカード成形用プレス

自動車業界

- パワーモジュール成形用プレス
- 曲面太陽電池モジュール製造用ラミネータ
- 自動車用部品成形ライン
- セラミック成形用プレス

宇宙航空産業

- ハニカム材成形用プレス
- 自走式航空機整備用リフト

素材関連業界

- 熱可塑性樹脂シート成形用真空プレス

建材関連業界

- ボード成形プレスライン
- 住宅用ドア成形用プレス
- 樹脂成形用型締機

その他の業界

- 鋼材鋼板用ストッカー
- 厚板切断加工ライン用パレットチェンジャー

コンプライアンスに対する取り組み

コンプライアンス体制

コンプライアンス委員会を設置し、委員会を中心にコンプライアンスの徹底、強化を図っています

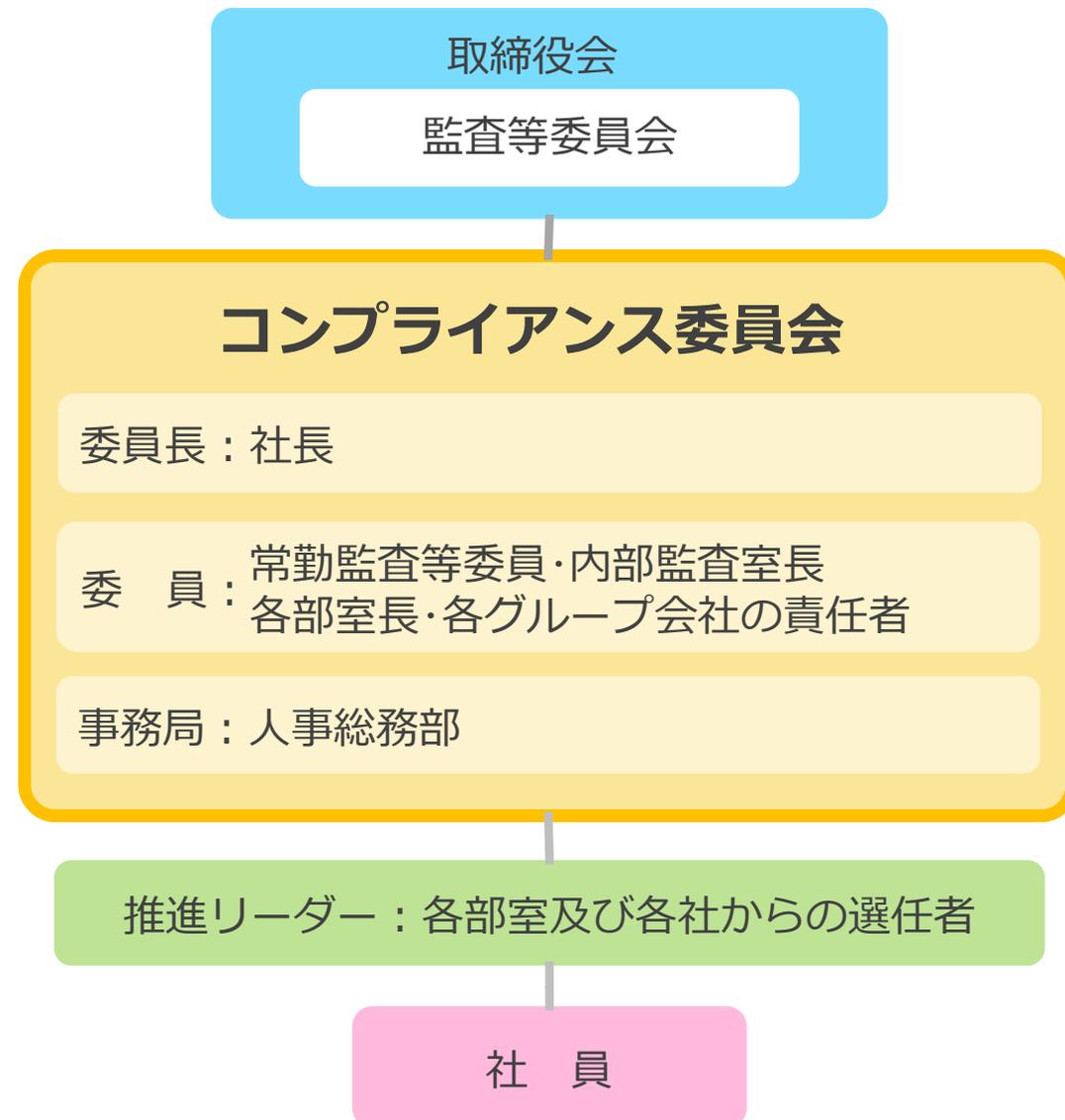
コンプライアンス委員会の役割

1. コンプライアンス教育計画の策定
2. 事業活動に関わる潜在リスクの把握と予防策の立案
3. 顕在化したコンプライアンス違反への対処方法の策定
4. 再発防止策の立案
5. 取締役会への提言と承認された方針や対策の推進

コンプライアンス教育

1. コンプライアンス規程
2. コンプライアンスガイドライン
3. e-ラーニング
4. 推進リーダーを講師とし社内研修実施

コンプライアンス体制図



株式状況

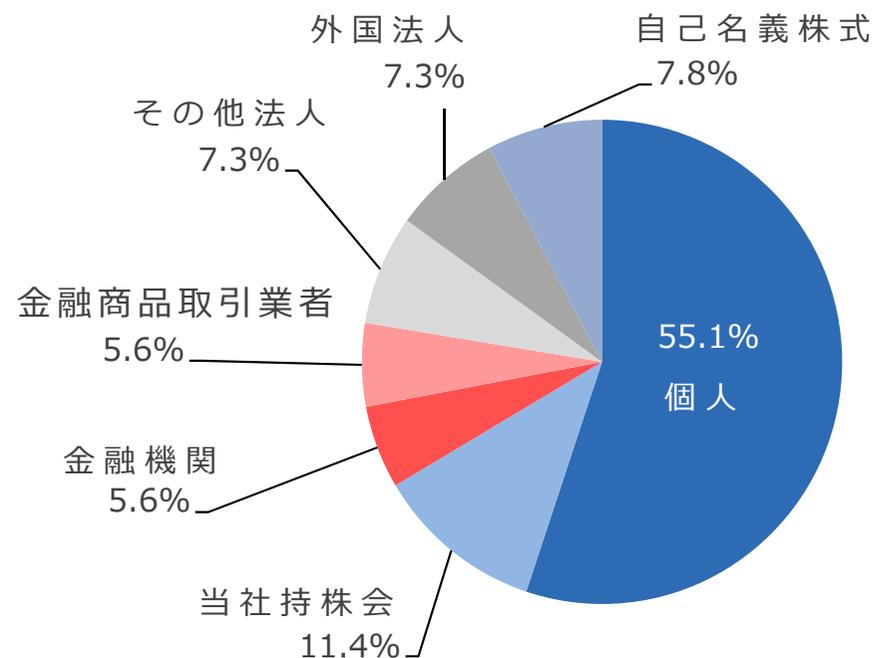
【大株主情報】

株主名	持株数	持株比率
北川精機取引先持株会	723,400	10.25%
内田 雅敏	579,000	8.21%
北川 一子	486,900	6.90%
株式会社広島銀行	347,000	4.92%
河原 栄	257,600	3.65%
内田 由美	230,500	3.27%
株式会社マンセイ	142,000	2.01%
MSIP CLIENT SECURITIES	134,300	1.90%
JPMBL RE CREDIT SUISSE AG. SINGAPORE BRANCH COLL EQUITY	125,500	1.78%
株式会社SBI証券	111,000	1.57%
計	3,137,200	44.47%

(2020年12月31日現在)

発行可能株式数	20,000,000株
発行済株式数	7,649,600株
株主数	2,859名

【所有者別分布状況】



持株比率は自己株式(594,838株)を控除して計算しております。

連結貸借対照表の通期推移

【単位：百万円】	2011/6	2012/6	2013/6	2014/6	2015/6	2016/6	2017/6	2018/6	2019/6	2020/6
流動資産	5,070	2,732	3,315	3,682	3,335	3,520	3,897	4,421	4,770	5,558
固定資産	5,466	3,725	3,399	3,316	3,247	2,399	2,469	2,459	2,309	1,784
資産合計	10,537	6,457	6,715	6,999	6,582	5,919	6,366	6,881	7,079	7,343
流動負債	5,409	4,215	4,267	4,729	4,443	4,088	4,158	3,596	3,669	4,346
固定負債	2,124	1,563	1,525	1,254	904	793	668	1,400	1,291	970
負債合計	7,534	5,778	5,793	5,983	5,348	4,882	4,826	4,997	4,960	5,316
純資産合計	3,003	679	922	1,015	1,234	1,037	1,540	1,884	2,118	2,026
負債及び純資産合計	10,537	6,457	6,715	6,999	6,582	5,919	6,366	6,881	7,079	7,343
自己資本比率	26.4%	7.1%	9.8%	10.7%	14.3%	13.0%	19.8%	22.2%	23.8%	27.6%

連結キャッシュ・フローの通期推移

【単位：百万円】	2011/6	2012/6	2013/6	2014/6	2015/6	2016/6	2017/6	2018/6	2019/6	2020/6
営業 C F	△1,385	697	614	△215	104	323	116	1,590	△348	728
投資 C F	△2,220	153	327	50	△43	717	△200	△101	△121	△315
財務 C F	1,918	△642	△283	△212	△26	△735	△209	△322	△111	△474
現金及び現金同等物 期末残高	574	778	1,540	1,163	1,211	1,467	1,194	2,359	1,768	1,709
有形固定資産の 取得による支出	1,863	224	27	62	46	55	188	100	108	38

セグメント別業績の通期推移

【単位：百万円】		2011/6	2012/6	2013/6	2014/6	2015/6	2016/6	2017/6	2018/6	2019/6	2020/6
※ 産業機械事業	売上高	4,074	1,869	2,335	2,812	2,986	2,748	3,712	3,585	3,889	4,057
	営業利益	△28	△192	△10	104	163	79	362	257	321	455

※=2011/6 1Qよりセグメント開示変更：「FAシステム事業」を「産業機械事業」に統合。

下記事業の詳細は下の通りです。

【建材機械】2020/6.1Q子会社株式譲渡により連結除外

【PV・EDLC】2012/6末製造から撤退

【単位：百万円】		2011/6	2012/6	2013/6	2014/6	2015/6	2016/6	2017/6	2018/6	2019/6	2020/6
建材機械事業	売上高	706	882	1,005	1,078	1,101	628	1,000	1,255	1,350	—
	営業利益	△34	36	137	54	89	△39	52	215	238	—
※ P V 事業	売上高	741	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	営業利益	△870	—	—	—	—	—	—	—	—	—
E D L C 事業	売上高	198	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	営業利益	△62	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※=2011/6 3Qより「ソーラーシステム事業」の名称を「PV事業」に変更。

IR情報に関するお問合せ先

【IR窓口】

北川精機株式会社 人事総務部

TEL : 0847-40-1200

FAX : 0847-40-1202

URL : <http://www.kitagawaseiki.co.jp>

E-mail : ir-info@kitagawaseiki.co.jp

－ 注意事項 －

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことは控えるようお願い致します。実際に業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。

－ 数字の処理について －

記載された金額は当社が決算短信にて発表した数値で、別途計算が必要な数値は千円単位未満を切り捨て処理しております。尚、比率は千円単位で計算した結果の小数点以下を四捨五入して処理しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

いかなる目的であれ、当資料を無断で複製複製、または転送等を行わないようお願い致します。